



# うつくしの里だより

NO 167 令和 5年 春の号 通信レク係

春爛漫！施設外周の桜満開です！



暖かい日差しを浴びに外出！肌で春を感じています！



## 新年度を迎えて

今年の桜は、3月に暖かい日が続いたこともあり、例年に比べ早く開花しました。私たち日本人は桜の花に特別な思いがあり、心が和み感動を覚えます。長く寒い冬が終わり、春本番を迎える季節となりましたが、ご家族の皆様におかれましては、ご健勝でお過ごしのことと存じます。

また、日ごろは、うつくしの里の運営にご理解ご協力をいただき、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、うつくしの里も4月から新年度を迎えました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年であり、12月にはクラスターの発生により、ご家族の皆様にご心配とご迷惑をお掛けしたことにお詫び申し上げます。今は全国的に感染者も落ち着き、以前の生活を徐々に取り戻しつつありますが、施設においては感染者が出た場合に備え、定期的な訓練を行い感染者が出た場合に備え取り組んでいます。

令和5年度は、事業計画に基づき、これまで以上に地域や関係機関との関わりを強めて運営してまいります。JAや地元町会などとの連携や地域活動にも積極的に参加し、4年ぶりにボランティアの皆様との交流も計画しております。

私たちは、ご家族の皆様から「うつくしの里で良かった」と言ってもらえるよう、利用者の尊厳を守り、安全に支援させていただきますので、本年度も引き続きご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

施設長 小岩井 浩一



## 《医務より》

日頃からご家族の皆様にはコロナの感染対策等に、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コロナワクチンの接種につきましては、今の所感染者数が落ち着いている為、オミクロン株対応ワクチンを打つ予定はありません。つきましては、政府の方針として、今後はインフルエンザと同様に10月頃からの定期接種になる予定の為、状況に応じて対応していきたいと思っております。

また、胸部レントゲンは、今年度4月17日に行います。異常があった方のみ後日連絡をさせていただきますので宜しくお願い致します。

## 《異動職員》

4月より 蟻ヶ崎デイサービスセンターから異動になりました百瀬美和子です。初めての特養勤務にとってもドキドキしていますが、少しでも早く慣れ、お役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



4月17日より西澤光太介護士が蟻ヶ崎デイサービスセンターに異動になります。

## 《退職職員》

長年に渡り勤められた 浅田正恵看護師 森山都看護師 大和則子介護士 松尾竜次介護士 柳沢るみこ介護士が退職となりました。残念ではありますが、今後の活躍を期待しております。

## 《行事の風景》

2月よりエリアごとで行事を始めています。

2月 節分にちなんで鬼の面がついたペットボトルを倒す、というボウリング遊びを行いました。掛け声はもちろん「鬼は外ー!」です。ペットボトルが10本倒れるまで何回でもお手玉を投げ、密を避けながらも久しぶりに大きな声を出して楽しみました。



3月 ひな祭りは吊るし雛を作りました。一人ひとり作った作品を毛糸で繋ぎ合わせ、とてもかわいい吊るし雛が出来あがりしました。エリアに飾り賑やかになっています。

「楽しいひな祭り」もみんなで合唱しました。

また、「陽だまりの会」の皆様から手作りの雛飾りの壁画をいただきました。松本てまりを施した素敵な作品です。こちらはホールに飾り皆で眺めて楽しんでいます。



## コーヒー喫茶

コロナが落ち着きを見せてきたので、エリアごと毎週1回ドリップコーヒーを提供しています。施設内がコーヒーの香りに包まれます。ご利用者の皆さんも楽しみにされています。



## 【苦情について】

- ①近隣マンションから見える位置へゴミ収集ボックスの設置場所を変更してしまい、地域の皆様への配慮が足りず不快な思いをさせてしまいました。設置場所は直ぐに以前の場所へ戻しています。
- ②ショートステイのご利用者宅を訪問した際、駐車場の確認が不足していたため、別の方が契約している場所で公用車を駐車してしまいご迷惑をお掛けしまいました。集合住宅の駐車場の場合は、特に注意していきます。
- ③ショートステイのご利用者より、午後の水分補給の声掛けをさせていただいた際、「喉が渴いたのでお茶をください。」とのご希望に対して、おやつの確認をせずにお茶だけで良いと判断してしまい、おやつを提供しませんでした。必ず確認するようにエリア会議にて周知しました。
- ④ショートステイを初めてご利用された方に対して、夜間の排泄ケア時の声掛け等が不適切であり不快な思いをさせてしまいました。直ぐにご本人、ご家族へ謝罪させていただき、全エリアにて接遇に関する研修を行いました。今後同様のことがないように努めていきます。
- ⑤昨年12月施設内で新型コロナウイルス感染が蔓延していた前からショートステイ利用についてケアマネジャーよりお問い合わせをいただいていた方について、ショートステイ利用再開後も連絡をしていなかったため、ご利用者だけでなく関係者の皆様へもご迷惑をお掛けしてしまいました。
- ⑥長期入所の申し込みをされているご家族より待機状況へのお問合せがあった際、入院先の状況と違う内容を回答してしまい、ご家族が病院に対して不信感を持ってしまわれたと病院ソーシャルワーカーよりご連絡をいただきました。直ぐにご家族へ訂正のご連絡をさせていただきました。→⑤⑥については、担当する職員間での連携不足が原因でした。誰でもが同じ対応ができるよう連携方法の見直しを行いました。
- ⑦長期入所のご利用者の体調変化時のご家族への連絡が遅くなり、結果受診のタイミングが遅くなってしまい、また施設での対応が難しい医療行為があったため退院についてご相談させていただいたことで、施設に対して不信感があるとのことをご意見をいただきました。現在、直接ご面会いただく機会が制限されている状況でもあり、体調の変化があった際は早期にご家族へ嘱託医の指示内容をお伝えし、治療等についてご相談できるよう看護師、ケアマネジャー、相談員にて確認しております。
- ⑧退所されるご利用者の荷物の取り扱いについて、ご家族より事前に確認をいただいていたにもかかわらず、職員間での連絡不足により、適切に対応ができずご家族へ不快な思いをさせてしまいました。荷物の保管場所や連絡方法について、特養の職員だけでなく総務課の職員とも確認を行いました。

今回、沢山の苦情、ご意見をいただきました。多くは職員の連携や確認不足が原因ですが、ケアに関しては、ご利用者の立場にたった対応ができず大変不快な思いをさせてしまいました。今回のことを全職員が真摯に受け止め、より良いサービスを提供できるよう努めていきます。

